



さよなら森くん さよなら宝の海 グッドバイ艦長

第34号

さよならからす?

発行所 東京都中野区中央5丁目1番2号西田ビル4階 〒164-0011 からす新聞本社 電話03-3382-5963 ©からす新聞本社
からすホームページ <http://www.go-karasu.com/> 投書・お問い合わせのE-mail : colors@go-karasu.com

Nという国がある。国民を馬鹿にした密室に於ける就任劇の経緯からして甚だ如何わしく、風貌・発言・行動、どこを取ってみても、一国を束ねるような職務に些かも相応しくは思われな

一国の長たるもの、国民全員の支持を得られることが、勿論、望ましい。理想論だ。現実的に考えると、まさに十人十色というところ、国民の合意は得ることは限りなく不可能に近いこと、否定はできない。では、一〇〇パーセントが無理だとして、どの程度の支持を得られれば、まず満足

り高い可能性で法に抵触していたと考えられている行動さえあるのである。不適任者だという判断は広まり、早期退陣を求める嵐が吹いている。しかしながら、逆に考えると、こんな状況下あってさえ一〇〇人に七人は彼を支持しているわけである。多くの人民の意を纏めることが如何に困難か、このことが証明しているのだ、と言えなくもない。

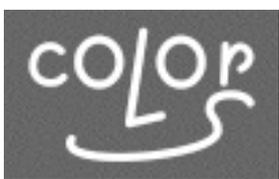
人々はM首相を批難する。当然である。ついに、彼の属するJ民党内部からも、そんな声が聞こえてくるようになった。当然である。マスメディアでも彼の評価は下がり続けている。当然である。飲み屋での馬鹿話の中でさえ、多くの者が口を揃えて悪口を吐く。当然である。

今日の紙面から

- 二面(フラザール面)
松本と話をうかがうボンパン
- 口だけ男のナチズムを語る
- 三面(x x 面)
ヤンヒボのx x x
- 四面(からすライブラリー)
本『東京の江戸を遊ぶ』
- CD『コンストラクション・オウ・ファン』
- 映画『フル・モンテ』
- 五面(書き初面)
書き初め大会其の二

からす新聞は学習塾カラーズが母体となつて、世界に文化と芸術を発信すべく発行している新聞です。

誰でも自由に参加できます(無茶じやない範囲で)。



(最終面に続く)

松本と話そう。ピン、ポン、パン

カラーズの良い子の皆さん、元気ですか？ピンポンパンは元気ですよ。

海は完全に春です。太陽の光りからしてもう違う。熱くさえあります。が、その一方で、海は全体がポーっとしている。夕方なんかになると太陽の光がその中に溶けていき、うすい、^{いちご}莓ミルク色が^{こん}紺色を^{あお}覆い尽くす。

そんななか、おのおのが好きなことをしている。サーファーたちは、さして波もないのにプカプカと浮いて乗れそうな波を待っている。近くの中学校の女子たちは特に走るでもなく、ブラブラとジャージ姿で^{なみうちざわ}波打際を歩いていく。飼い主と共に散歩に来た犬どもはいつも通り好き勝手に騒いでいる。ふだん、あまり海と接してないのだから、20前後の女の子2人は素足を^{あらわ}露にし、波がそれにかかるとなんとも言えない喜びの声をあげている。たぶん、なんらかのノルマを課しているのだから、年輩の男性は急ぎ足でその横を足早に黙々と通り過ぎていく。いつから住み着いているのか知らないが浜を上がりつめた辺りに自分なりの住居を構えた浮浪者は相も変わらず地平線の彼方に目を遣りなにかをささやいている。

自分もただそこにいる。

すべてが一つ。一つのリズム。一つのメロディー。

^{しあわせ}至福の喜び。それだけである。

誰が事故で死のうが、誰がそれで非難されようが、誰が悪かろうが誰が良かろうがどうでもいい。誰が何にふさわしかろうが、ふさわしくなからうが。

君が聖人だろうが嘘つきだろうが、お金が好きだろうが愛が好きだろうが、ホモだろうがレズだろうが、毛が濃かろうが薄かろうが、天才だろうが白痴だろうが、プロレスラーだろうが身障者だろうが、ジョンだろうがポールだろうが、たんぼぼだろうがブッチモニだろうが、ヒデだろうが西沢だろうが、^{そうろう}早漏だろうが^{ちゅうろう}遅漏だろうが、創価学会だろうがものみの塔だろうが、早稲田だろうが慶応だろうが、カレイだろうがヒラメだろうが、マイナスだろうがプラスだろうが、優作だろうが秀作だろうが、潜水艦だろうがえひめ丸だろうが、横尾忠則だろうが桑田佳裕だろうが、Am7だろうがG#だろうが、UFOだろうが人魂だろうが。

ああ、夢見たくなってきた。

そろそろ寝るわ。それではまた。

口だけ男の「ナチズムを語る」Summer 2

先々月、先月と私の不徳の致すところにより、からす新聞の皆様、ならびにごく少数と思われる私の拙文を読んでくださっている方々に多大な迷惑をおかけしたことに對して、お詫びいたします。誠に申し訳ございませんでした。今後かような事を起こさぬように致しますので平にご容赦お願いいたします。

まずは新年明けましておめでとうございます。2001年、21世紀、新世紀。昨年は昨年でミレニアムだと大騒ぎし、今年は今年でまた色々大騒ぎしていたようで、迎えてみると大して変わりがないとも感じてみいる。確かにシニカルな見方をすれば、何の事はない、単に新しい一年を迎えただけじゃないか、なんて見方をする人もいるだろう。また新世紀なんて西洋の基準じゃねーか、なんて思い平成13年だよという人もいるだろう。もっと気合の入った黒い車に乗って軍歌を聴かせるのが好きな人だったら、皇紀2661年だ！と言う人もいるだろう。敬虔なムスリム(イスラム教徒)はヒジュラ暦(西暦622年を1年とし、太陰暦を使用して暦をつくる。1年が350日ぐらい。だから私たちの新年とずれていく。)を使う人だっているだろう。確かに、西洋を中心にして考えることに対して批判する事は一理あるし大事な事だ。

しかし、今、私は敢えてこの“新世紀”という見方を歓迎したい。それはなぜか？

今私がからす新聞に書いているのはナチス=ドイツについてである。その理由は、あの異常な犯罪というものについて書き、少しでも興味を持ってもらい、そして知ってもらって、二度と起きたりその犠牲になりたくないからだ。で、これから詳しく述べていくと思うがナチスの思想の根幹は、自分達に民族が一番優れていて、他は劣っているという考え、自民族中心主義である。この考えはナチスに限った事でなく、日本だろうが、アメリカ、フランス、イギリス、などなど色々な国で信じられた、いや信じられている考えなのだ。(小林よしのりの本があれ程売れているもんなー)事実、あれほどの惨劇をもたらした第二次世界大戦の後でさえ、これによる戦争がどれほど起きたらうか？自分達が正しく、それに納得しないのは間違いだ、という考えが、時に共産主義や資本主義といったイデオロギーの身をまとい、時にイスラム教やキリスト教といった宗教に形を変え、何度も何度も繰り返されているのだ。

試しに自分たちが使った教科書に載っているものだけでも挙げてみる

と、四度にわたる中東戦争、その原因となったパレスチナ紛争、朝鮮戦争、インドシナ紛争、ヴェトナム紛争、チェコ、ハンガリー、アフガニスタン等へのソヴィエトの軍事介入、印パ紛争、中印紛争、中越紛争、中ソ紛争、イラン・イラク戦争、イラクのクウェート侵攻、湾岸戦争等……。きりが無い。しかも滅多に報道される事のないアジア・アフリカの紛争はこれまた数多くあるのだ。第二次世界大戦後、地球上から銃声が止んだことはないのだ。これは決してたとえてない。事実なのである。それゆえに20世紀は戦争の世紀と言われてもいるのだ。

私が“新世紀”という見方を歓迎するのは、ひとつの区切りを入れることでそういったことが続いてきた、いや猶も続こうとしているこの事実について考えるきっかけにしたいし、そしてみんなにそうして欲しいからだ。

いずれ書こうと思っていて書いていなかったが、ナチについて書こうと思ったもうひとつの理由、この戦争、紛争がおこる仕組みというものがもたらす悲劇は何も国とかに限った事でなく、我々のまわりで、日常で起きていることで、その仕組みや不毛さを理解するのに一番いいのがナチズムじゃないかと思ったからだ。自分(達)が正しいと思ってそうでない人たちに害を与えること、それはよく見ている事じゃないだろうか？たとえば人をハブったり(仲間はずれ)、あんたおかしいとか、蔑んでいたりしないだろうか？私が言いたいのは何も自分が正しいと主張するのが間違いとは言っている訳ではない。そうするのは大事なことで、必要な事だと思う。但し、それが違うからといって排除したりする事が間違いだろう、と。そして自分に対して疑いを持つ事を恐れるべきでないと思うのだ。その結果として自分が正しいと思ったとしても排除すべきでない。

まあそんなこんな事を考えるきっかけにしたいなあ、と繰り返しになるけど、そう思って“新世紀”というのを歓迎しているのです。

さて、21世紀。いったいどんな100年に自分達はしていくのだろうか？私は現実にはがっかりしながらも、何か楽しみを感じているのだ。不安と興奮のなかで。きっと素晴らしい100年になるだろうと。

(そう思ったとたんイスラエルではリクードのシャロン政権誕生のニュースが……。)



『東京の江戸を遊ぶ』 なぎら健吾
ちくま文庫(筑摩書房) 2000年
ISBN4-480-03595-8 C0195

 Books

東京に生まれ育ちながら、江戸文化という随分遠いもののように思える。そうなのだ。実のところ、我が杉並なんぞは江戸時代にはいなかの中のいなかであったわけであり、時間の上ばかりでなく、地理の上でも遠いのである。

しかしながら、なぎら健吾がここで紹介する江戸の香りは、遠いはずの文化を違和感なく身近に感じさせてくれる。読み進むうちに、自分にとっての東京とは、あるいは、故郷とは何だろう、と考えることになった。

彼が教えてくれる、かつては江戸だった東京の姿を自らの足で辿るもよし、身の回りに埋もれている町の姿を探るもよし。歴史の教科書からは学び難い歴史、こんな言い廻しをしたくなる。歴史は「今」に続いているんだな、と。



初めて母の実家のある弥生町まで自転車で行って見たときの光景が、突然、蘇った。あれは何年生の頃だろう。夏に近い春だった。
(全太)

『Conspiracy of One』
the Offspring
EPIC、2000年、ESCA 8247

 CDs

「なんだこれ。こんなの金出して借りちゃったのかよ。失敗した。」初めてオフスプリングを聞いた時はそう思いました。

そもそもオフスプリングとの出会いは、2年ぐらい前、何か借りようと思って行った近所のTSUTAYAだった。当時はほとんど洋楽なんて知らなかった(っていうか今もあんまり知らない)し、ましてやパンクなんてなおさら知らなかった。でもパンクには興味があったので、「何か聞いてみよう。これでいいや」みたいな感じで2枚CDを借りてみた。その中の1枚がオフスプリングだった。今そのCDを聞くとかかなり良いと思うのだが、その時はホント後悔してた。なにはともあれ、こうして僕はオフスプリングと出会った。

ところで、このアルバムだが、前作同様おもしろいものに仕上がっていると思う。何がおもしろいかって、それは自分の耳で確かめてみて下さい。

(くわ原)



『フル・モンティ (The Full Monty)』

監督: ピーター・カッタネオ
主演: ロバート・カーライル
イギリス 1997年

 Films

近頃イギリスをその震源地として流行している病気といえば、「口蹄疫」^{こうてい}。牛の病気である。わかりやすい日本語にすれば「口と足の病」、英語名もそのとおり、“mouth-and-foot disease”である。

一方、英国に発する人間の病気といえば、“British disease”がある。「英国病」である。かつて七つの海に君臨した「大英帝国」の面影はすでになく、今の日本以上の深刻な不況に喘いでいた1970年代のイギリスという国に対して宣告された病名である。

不景気の割り子を食うのは、まずは最下層の一般労働者に決まっている。当時も、鉄鋼などの重工業の大産業の工場からたくさんの男たちが吐き捨てられた。仕事を失い、暇を持て余す男たちは、取りあえずパブへ行き、ビールを飲み、したたか酔いながら「これからどうしようか」と話した。

最近のイギリスは、70年代よりはよっぽどましとも言われるが、だからといって失業者がいなくなったわけではない。相変わらず、場末のパブでは同じような会話が繰り返されている。

「おい、これからどうするよ」

「おれたちで、ストリップやらねえか？」

“full monty”とは、いわゆる「スッポンポン」のこと。一生懸命に可笑しげな男たちのささやかな物語である。(望月)

ちなみに、monty とはそもそも第二次大戦の英雄モンゴメリー(Montgomery) 将軍の愛称。何事にも手を抜かず「徹底的」であった将軍にちなみ、「徹底的に(脱ぐ)」ということらしい。(望月)



書き初め其の二

きりぎりす
 水
 水

癒
 心
 ゆり

玉石
 石

売
 り

点
 点

萬

り

全木



#01 ロンドンの学生

ロンドンで暮らし始めてから、はや四ヶ月が経とうとしている。取り分け、此処が良いと言うところもなく、田舎の方に行こうかなあ、と思いつつ結局ここに居着いてしまっているのはどうしてだろうか。

取りあえず、海外で暮らしてみたかった。実にふざけた理由だが、正直なところの僕が此処へ来た一番の理由はこれだ。加えて、英語が話せるようになりたかったので、イギリスに来てしまった。アメリカには何となく住みたくなかったのである。そんな訳でひょこひょこやって来たのだが、同じように将来、イギリスに行って見たい人のために簡単な説明から。

基本的に物価は高く(特に家賃)働いていない身としては辛いところなのだが、幸いな事に、語学学校のたぐいは腐るほど有り、一番安いラインでは一年で10万円台の授業料ですんでしまう。現に自分が日本で雑誌を買って選んだときには激安だった学校も、三ヶ月で10万円ぐらいと、そんなに安くは思えなくなってくるから不思議で、高いラインでは年間100万円台の世界である。ちなみに、これは週15時間のクラスで学生ビザがもらえる最低限の時間数の話。

学生ビザは週20時間以下の労働が認められてるので(そうでない学生ビザもある) アルバイトでもして、安い部屋でも見つければ、思い

のほか長く滞在できるのである。学生の身分で滞在できる期間は、最大で4年ぐらいなので英語学校に飽きたら、他の学校(専門学校のようなもの、ガーデニング、料理、音楽、映像、アクセサリ、美容など様々)に通うこともできてしまう。(ビザには週15時間以上必要)

そんな理由からか、ロンドンには長く居着いている学生が多い。そういった場合、ビザのためだけに学校を申し込んだりと、学生と呼ぶには心苦しいものがある時も多いのだが、日本の水が合わないとか、ただ単にロンドンが好きだとか、人それぞれ理由はあるみたいでなかなか面白い。早い話が日本のフリーターみたいな感覚である。自分もその経験があり、今ロンドンでは学生だけに、尚更そう思う。日本に飽きたフリーター達がじわじわと海外に進出して来てるような感じだ。

もちろん色々な学生がいるし、フリーターが悪いと言っている訳ではない。皆、英語という共通のキーワードを含め、何かしらの目的意識がある。ただ、日本の若者を代表する二つの代名詞、コギャルとフリーターのうち、進出して来たのがコギャルの方じゃなくて良かった、思わずホッとしてしまった。

コギャルは人格も含めて、そう呼ばれている気もしないでもないが、結局はその人の心構え、中身の問題だと言ってみたところで、彼女らがロンドンまで進出してくると想像すると、やっぱりちょっと、ぞっとしてしまう。

けれども、そんな際にはぜひ、チャイナタウンの無愛想でせっかちな中国人達と一悶着起こして欲しいものだ。いい戦いになるに違いない。いや、それは本当に面白そうだ...

(朝人)

『コンピュータの脳みそ』最終回

昨春より始まったコンピュータの脳みそのお話ですが、今回「論理演算」の解説をして、最終回とさせていただきます。

論理演算って何だった? 連載の最初の方で言葉だけ散々出して、中身を解説していなかったアレです。最後なので難しいのを一発ぶちかまして逃げようというわけです。なお、「2進数」の話を理解できなかった方、数学の嫌いな方は、今回の話は読み飛ばして下さい。もっとも、飛ばした次は無いのですが・・・

論理演算は、ある種の計算ルールの総称です。代表的なところに論理和(OR)、論理積(AND)、否定(NOT)の3種類があります。そして、いずれも「0と1の世界」で考える計算であり、とにかく0か1かを追いつける計算です。

まず、「論理和」から解説しましょう。まず、数値Aと、数値Bがあり、どちらも1桁の2進数であるとしします。この時、AとBの論理和 "A or B = ?" の答えは、AとBのどちらか、または両方が1であれば1、そうでなければ(AもBも1でなければ)0になります。

「論理積」だとうなるか。同じように数値Aと数値Bを考え、その論理積 "A and B = ?" の答えは、AもBも1であれば1、そうでなければ(AとBのどちらか片方だけが1、もしくは両方が1でなければ)0になります。

「否定」は簡単です。数値Aが1なら "not A = ?" の答えは0。数値Aが0なら答えは1です。0と1が反転するだけです。

数学の得意な人はもう気づいたかもしれませんが、論理和と集合、論理積と共通部分、否定と補集合と読み替えると、高校の数学に出てくる集合の話そっくりになります。あの集合の世界を0と1だけで考える、それが論理演算の基本です。

そして、論理和、論理積、否定を組み合わせた計算に「排他論理和(EOR/XOR)」という計算があります。これは、AとBが違う値なら1、同じ値なら0になります。

この他にも数種類の計算ルールがありますが、コンピュータの世界に

主に関わってくる論理演算は、この論理和、論理積、否定、排他論理和の4種類です。

ここではわかりやすくするために1桁の数同士で解説しましたが、2桁以上の数での論理演算を行う場合は、互いの同じ桁同士に注目し、それに対して論理演算を行います。例えば1110bと1010bの論理和は1110bになりますし、論理積は1010bになります。また、等しい2つの数同士の排他論理和は必ず0になります。

これが一体何なのか。実は、「コンピュータの脳みそができること」の全ての基本。足し算引き算の計算から、数字を記憶しておくことまで、この論理演算を行う電気回路(論理回路)を組み合わせて実現しているのです。

例として1桁の2進数、AとBの足し算を考えてみます。

まず、AとBの排他論理和を取ります。これが、答えの1bの位の値になります。AもBも0ならば足して0だから、1bの位は0。排他論理和も0です。AとBのどちらかが1ならば、足して1だから1bの位は1。排他論理和も1です。AとBの両方が1ならば、足して10bになり、1bの位は0。排他論理和も0です。

次に、AとBの論理積を取ります。これが「繰り上がりの数」になります。繰り上がりが生じるのはAもBも1の場合だけ。AとBの論理積が1になるのも、AもBも1の場合だけです。そして、今回の例の場合はこれがそのまま10bの位の値になります。これで1桁の2進数同士の足し算が完成します。

もっと大きな桁の足し算をしたい場合は・・・小学校でやった算数と同じです。「1桁の計算」をどんどん繰り返していくのです。繰り上がりに気を付けながら、ね

1年間続けて参りましたコンピュータの脳みそのお話、これにて幕でございます。縁があれば、またお会いしましょう。

米国式悪態

2月のニュース英語より

先日、ある芝居を観ていたら、劇中、頭に来た若者が女の子に向かって

て
ビッチ
bitch (× × ×) !
プロSTITUTE
prostitute (× ×) !
コートザン
courtesan (高級 × ×) !

など呼んで悪態をついていた。どれもあまりに品がないのでやむなく伏せ字にさせていただきますが、しかし、courtesan! なんて言って悪態ついてんの、聞いたことないけどな。考えたの誰だろな。

人間、品のない言葉を吐き、悪口を言い、悪態をつかなきゃやってられないときがあります。無理にこらえたりしてストレスのもとになっても大変ですから、時と場合を考えて適度に遠慮はしつつも、言いたいときにはできるだけ言うようにした方がいいのかもしれません。

そこで今回は、アメリカの政治家とか軍関係の人なんか、いかにも言いそうな英語の悪態言葉を、2月のニュースからいくらか拾ってみました。(望月)



ナット
nut

本来は「固い木の实」、つまり「ナッツ」のこと。「頭の固いやつ」と言うことから、「バカモノ、キチガイ」といった意味で使われています。

ウィンプ
wimp

男性に対して使われる言葉で、そもそもは「女」のこと。womanの形が崩れたとも言われますが、定かではありません。意味は「弱虫、意気地なし」で、いかにも軍人が好んで使いそうな、完全な差別用語です。日本語で言えば、「女々しい」あるいは「女の腐ったようなやつ」といったところに当てはまります。

具体的用例

在沖縄米軍のトップが部下の司令官に宛てたメール

県議会が、兵隊の数減らせて決議してたけど、あいつらにはわからんのか、北朝鮮だって中国だって決して油断しちゃならない相手だっただけ。それにしても、知事も国会議員も町長も口だけの信用ならん連中だ。議会の方はうまく抑えろとやってたのにな。まったく、They're all nuts and bunch of wimps(やつらは頭の悪い弱虫どもだ)I have enjoyed telling them so. (そう言ったりするのも結構楽しいだけだね)

でもまあ、放っとくわけにはいかん。おまえらしっかりやってくれ・・・

注) nut や wimp は、相手を罵倒する表現ですから、実地で使う際には、相当の勇気が要ることを覚悟してください。

ヘル
hell

本来「地獄」を意味する言葉ですが、無意識に、思わず出てしまう表現として、幅広く誰もがよくこんなふうに使います。

What the hell is that?(ありや、一体なんなんだ)

この場合、単なる「あれは何ですか?」に、“ the hell ”が「ちくしょう」とか「くそつたれ」といった意味合いが付け加えられています。

具体的用例

潜水艦の司令室にて

艦長 : さあ、行きますよ。これから緊急浮上訓練です。準備はいいですか?

見学の民間人 : はい、オーケーです、艦長。いやあ、なんか緊張するなあ・・・

艦長 : こいつは遊園地のジェットコースターじゃありませんから。危険はどこに隠れてるかわかりませんよ。いいですか? よしっ、ゴー!

・・・浮上中・・・
・・・浮上中・・・
・・・浮上中・・・

艦長 : さあ、海面を突き破って飛び出っ

ドーン

うおっ、What the hell is that?!

ロッグ
rogue

こちらは「悪党」を意味する古風な言葉。しばしば「ならず者」と訳されます。

具体的用例

ホワイトハウスの執務室にて

大統領 : どうする? イラク。
補佐官 : 就任祝いでことで、一発ぶちかましてしましよう。大統領が代わったんですから、そのことを連中に教えといてやりませんと。

大統領 : そっか、そうだね。やつば連中は ^{ステート}rogue state だもんね。ババもあいつらは嫌いだって言ってたし、よし、爆撃しちゃえ。

イラク国営放送ニュース

イラク大統領 : アメリカこそ、ならず者だろうがっ

rogue state = 「ならず者国家」。アメリカ政府が、勝手に、「いきなりどこに向かって攻撃しかけるかわかったもんじゃない」と公式に認定している国家の呼び名。現在、イラクや北朝鮮などがこれに分類されています。

アクアネット
Let's mind the harbour!

湊文社
SORUNSHA

交和パレイユ
Kowa Pareille

祝福の宴の演出を
してみないか。

03-3371-8264

中山歯科クリニック

診療時間AM9:00 ~ PM9:00
水曜・土曜AM9:00 ~ PM6:00
休診日・祭日

03-3381-1109

(一面から続く)

そこにあるだけだ。つまり、発端はN国の愚かな民にあるのである。鏡を見てみたまえ。

人は複数の社会の中に存在する。選んで所属することになったものもあれば、出生時から自動的に組み込まれているものもある。例えば、万年筆の同好会、近隣の草サッカー・チーム、就職先の建築事務所などが前者に相当し、家庭や国家などが後者の例になるだろう。孰れにせよ、組織内に存在する限り、個を十全に活かすことは意外に難しい。そこに他が在る限り、それぞれの利害や好悪は、必ずしも一致しない場合がある。大なり小なり軋轢が生じ、うまくゆけば昇華して新しい地平へ進み、悪ければ崩壊や断絶に向かっていく。人は生きていくうちに、様々な社会内での身の置き方を学んでゆく。どうにも置き所がないシステムからは、自主的にせよ、そつでないにせよ飛び出していくことになるだろう。仮に、今あ



Ken-ichi Shinozaki, architect

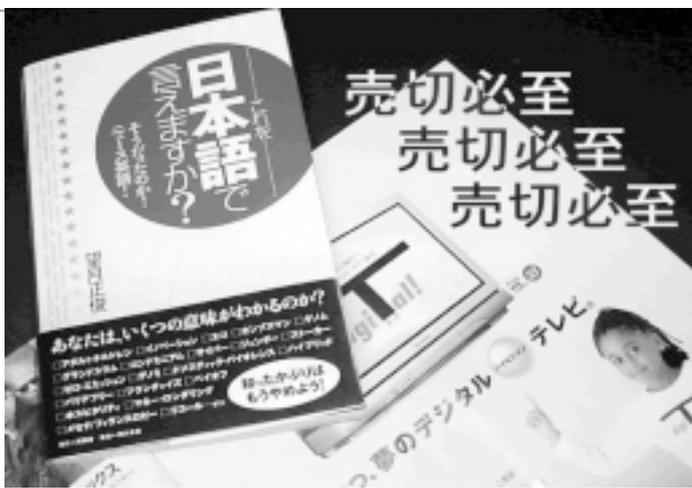
4-3-44-1 Narita-higashi, Suginami-ku,
Tokyo 166-0015,
Voice : +81-3-3220-0644
Facsimile : +81-3-3220-0640;
e-mail: geta-s@t3.rim.or.jp

篠崎健一アトリエ

あなたがN国民だったとしたら、社会の一員として、今、どのように行動するだろうか。

明け方、我儘な猫が私を起こしにやってくる。にやあにやあわめぎ、決して軽くはない体重で、胸に飛び乗る。それでも知らん顔していると、鼻の頭を齧ろうとする。腹が減っているのである。この人間を叩き起こして、めしが喰いたいのである。しかしながら、この人間は、漸く床に就いたばかり。静かに眠りたいのである。これもまた、小さな社会における小さな軋轢の例ではある。結局のところ、私は起き出して、彼女の食事を用意することになる。そんなに腹が減っているのなら、私が一步譲りましょうと。国民の命の急事に際しては、賭けゴルフを中止しましょう。それだけのことをさえしよとはしない首相がいる国、謎に包まれた国、神秘の国N。いったいどこに向かっているのだろうか。

(全太)



万年筆なら dani

<http://danijapan.com/>

1クラス4人までの少人数制学習塾



中野区本町2-50-12 ドエル中野201号
03-3379-1451



編集後記

からす新聞第三四号、無事、発行できました。新聞に限らず、これからも新企画目白押しなので、みなさんの御協力をお願いいたします。御意見・御要望をぜひお寄せ下さい。次号発刊予定日は二〇〇一年三月二十五日です。編集協力者、特派員記者、及び、投稿を熱烈にお待ちしております。

来社見学を御希望の方は左記のところへ。
丸ノ内線新中野駅徒歩〇分

